



## 2021年3月期 第2四半期決算説明会

---

2020年(令和2年)11月20日

ネットレン

高周波熱錬株式会社



- I. 2021年3月期 第2四半期の概要**
- II. 経営実績の推移**
- III. 第14次中期経営計画の状況**
- IV. 新技術・新商品・新規事業の開発と市場投入**

# I. 2021年3月期 第2四半期の概要

# 1. 2021年3月期第2四半期 連結決算の概要



(単位:百万円)

	2019年 9月期*	2020年 9月期**	増 減	増減率 (%)	2021年 3月期予想
売 上 高	24,936	18,367	▲6,568	▲26.3	40,800
営 業 利 益	1,054	▲697	▲1,752	—	170
経 常 利 益	1,155	▲447	▲1,603	—	650
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	571	▲653	▲1,224	—	100

\* 2019年9月期は、2020年3月期第2四半期を示す。

\*\* 2020年9月期は、2021年3月期第2四半期を示す。

(注) 換算レート 2021年3月期予想 1中国元=15.54円、1USドル=105.80円

## 2. 連結損益計算書

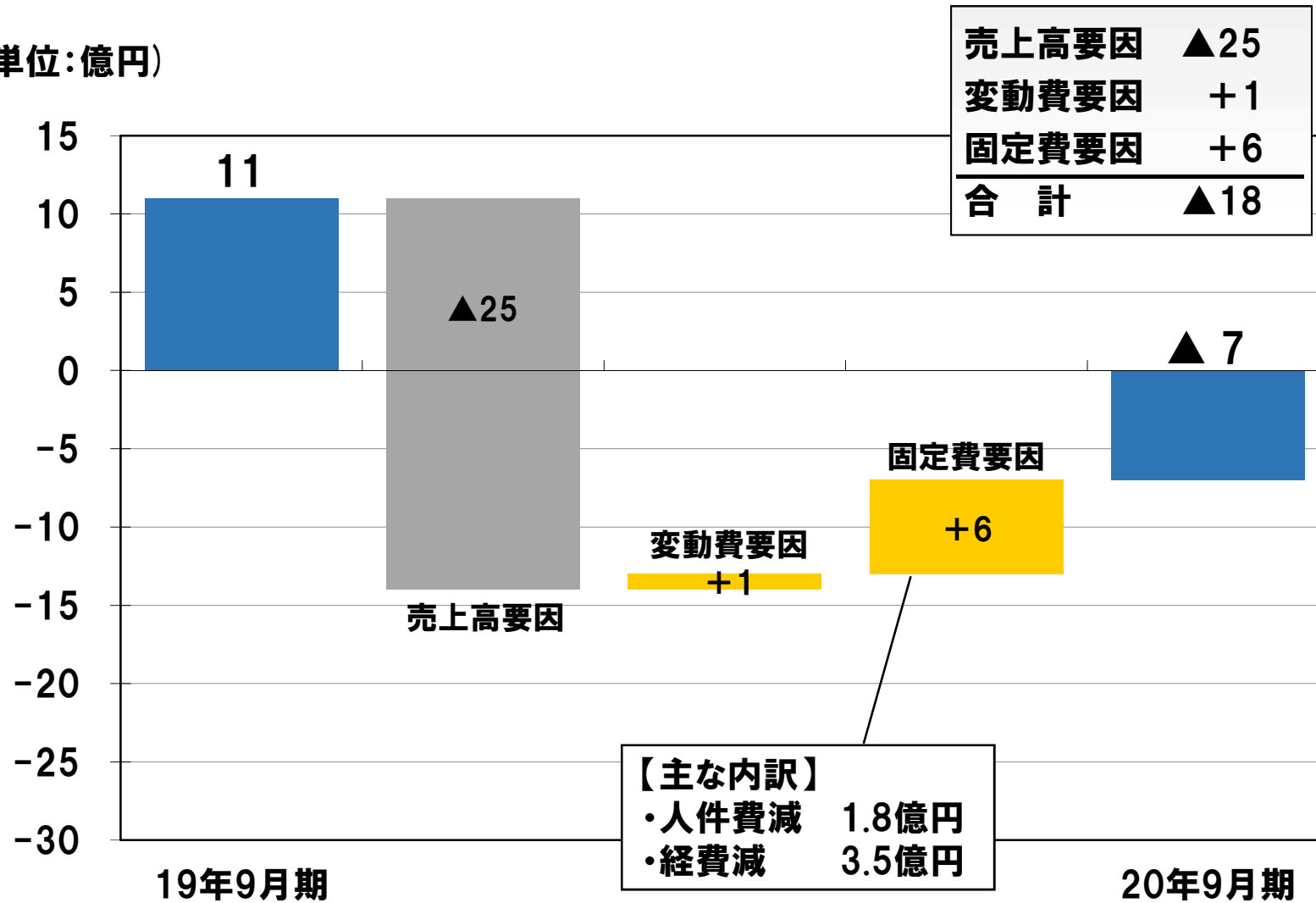


(単位:百万円)

科目	期別	2019年 9月期	2020年 9月期	増減	増減率 (%)	2020年 3月期
売上高		24,936	18,367	▲6,568	▲26.3	48,806
売上原価		19,805	15,567	▲4,237	▲21.4	38,754
売上総利益		5,131	2,800	▲2,331	▲45.4	10,052
販売費及び一般管理費		4,077	3,498	▲579	▲14.2	7,965
営業利益		1,054	▲697	▲1,752	—	2,087
営業外収益		281	274	▲6	▲2.4	552
営業外費用		180	24	▲155	▲86.4	567
経常利益		1,155	▲447	▲1,603	—	2,071
特別利益		19	35	16	84.3	43
特別損失		27	2	▲25	▲92.3	522
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,146	▲414	▲1,561	—	1,593
法人税、住民税及び事業税		354	131	▲223	▲63.0	575
法人税等調整額						298
四半期(当期)純利益		792	▲545	▲1,337	—	719
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		571	▲653	▲1,224	—	250
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益		220	107	▲112	▲51.2	468

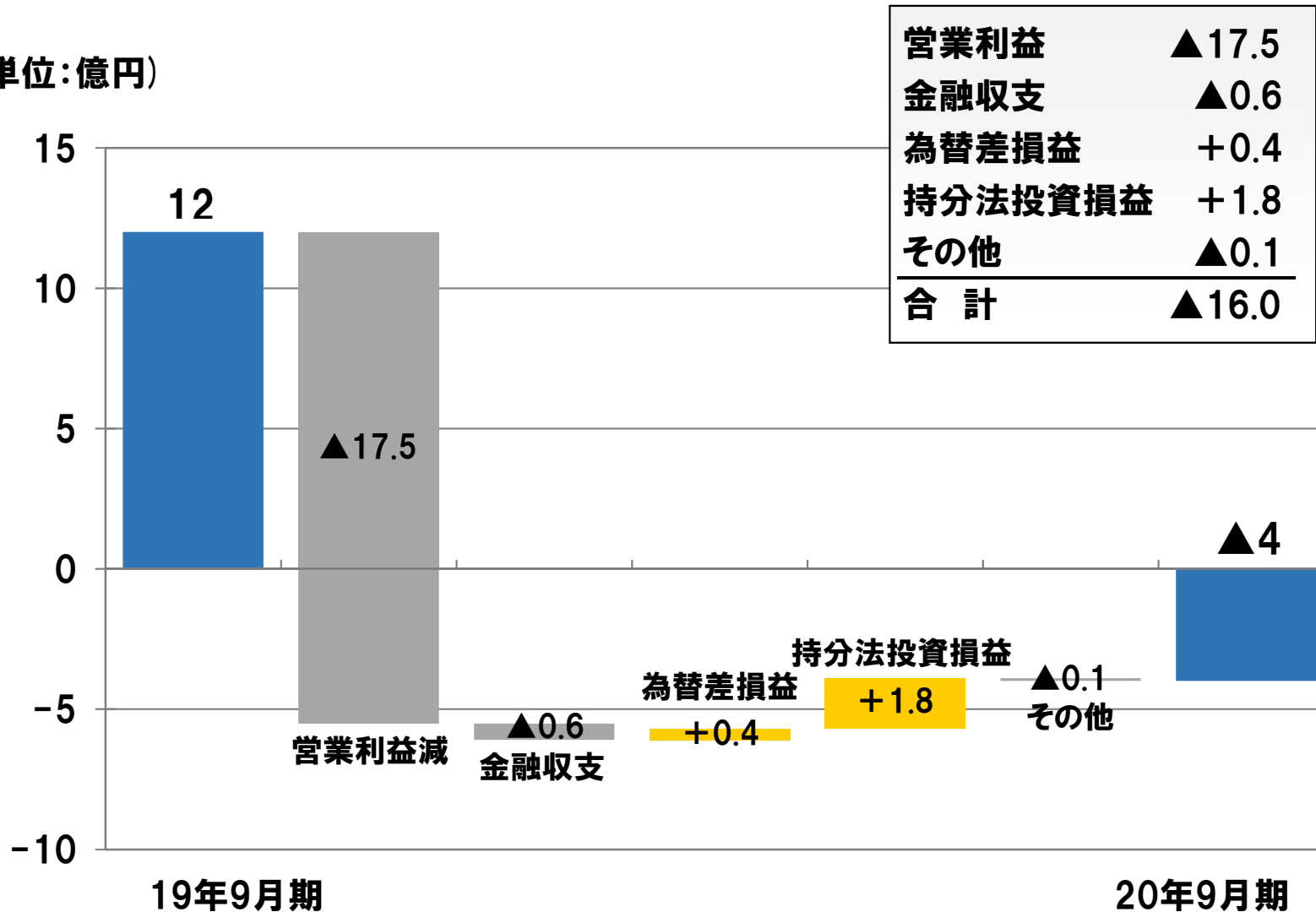
### 3. 連結営業利益の増減要因

(単位:億円)



# 4. 経常利益の増減要因

(単位:億円)



営業利益	▲17.5
金融収支	▲0.6
為替差損益	+0.4
持分法投資損益	+1.8
その他	▲0.1
合計	▲16.0

# 5. 2021年3月期第2四半期 連結決算 (単独期間) の概要

(単位:百万円)

	2020年 3月期	2021年3月期		前年同期比		直前四半期比	
		第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額
製品事業部関連事業	6,688	4,959	5,585	▲1,102	▲16.5%	626	12.6%
IH事業部関連事業	5,284	3,346	4,411	▲873	▲16.5%	1,065	31.8%
その他	32	32	32	0	1.2%	0	2.4%
<b>売上高</b>	<b>12,005</b>	<b>8,337</b>	<b>10,030</b>	<b>▲1,975</b>	<b>▲16.5%</b>	<b>1,692</b>	<b>20.3%</b>
製品事業部関連事業	113	▲232	126	12	10.9%	358	—
IH事業部関連事業	271	▲601	▲21	▲292	—	580	—
その他	11	13	14	2	24.0%	1	7.5%
<b>営業利益</b>	<b>396</b>	<b>▲820</b>	<b>119</b>	<b>▲277</b>	<b>▲69.9%</b>	<b>939</b>	<b>—</b>
<b>経常利益</b>	<b>421</b>	<b>▲652</b>	<b>205</b>	<b>▲216</b>	<b>▲51.3%</b>	<b>858</b>	<b>—</b>
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>229</b>	<b>▲685</b>	<b>32</b>	<b>▲197</b>	<b>▲86.0%</b>	<b>717</b>	<b>—</b>



## 6. セグメント情報 (連結売上高)



(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2019年 9月期	2020年 9月期	増 減	増減率 (%)	2020年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線ITW® 中空ラックバー 旋回輪 (建設機械部品)	13,594	10,544	▲3,049	▲22.4	26,521
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置・サービス	11,275	7,757	▲3,517	▲31.2	22,153
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	66	65	▲1	▲2.6	132
合 計		24,936	18,367	▲6,568	▲26.3	48,806

## 7. セグメント情報 (連結営業利益)

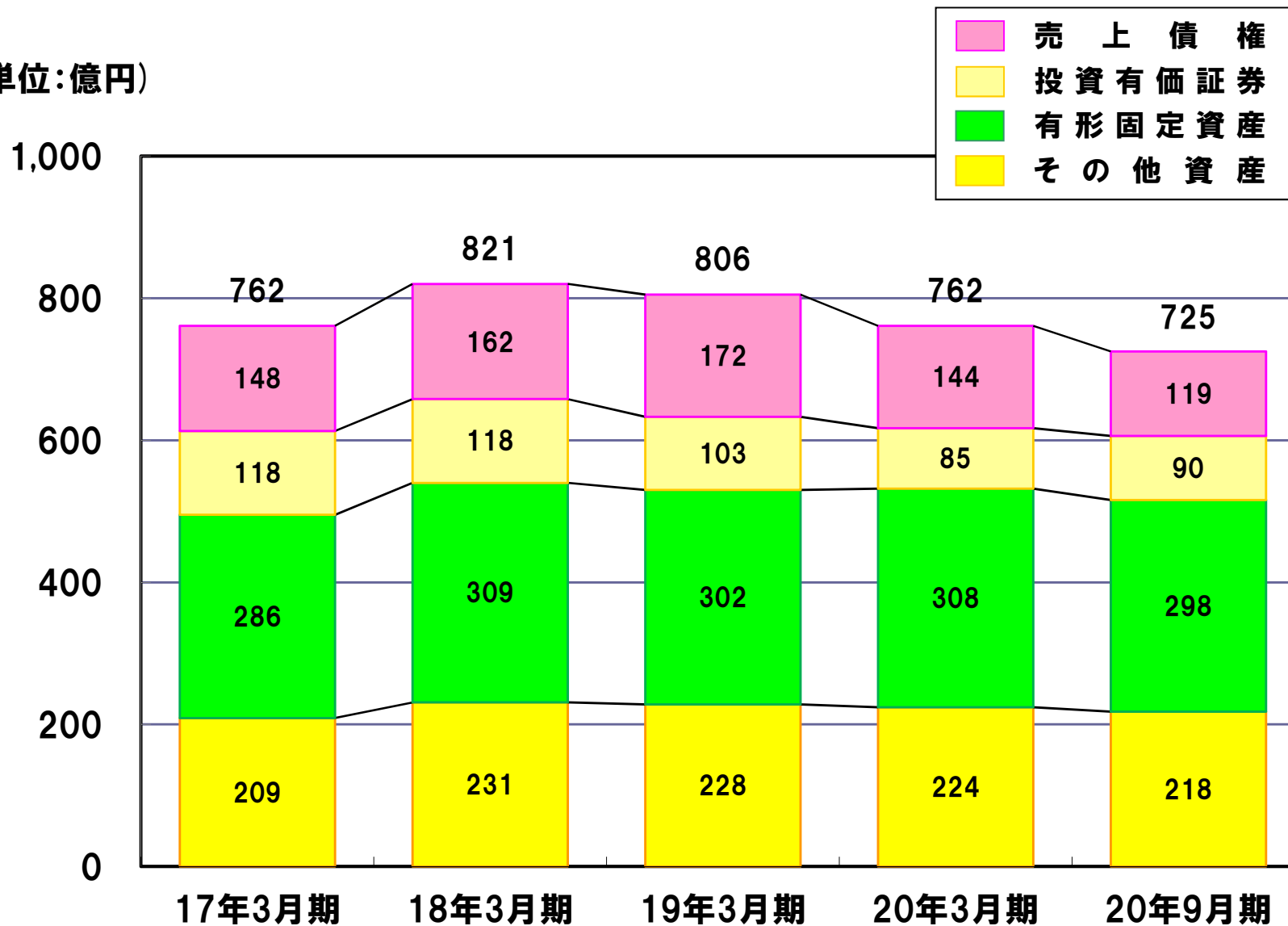


(単位:百万円)

事業区分	主な製品・サービス	2019年 9月期	2020年 9月期	増 減	増減率 (%)	2020年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒関連製品 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線ITW® 中空ラックバー 旋回輪 (建設機械部品)	237	▲106	▲344	—	536
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置・サービス	781	▲623	▲1,405	—	1,482
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および上 記以外の事業	30	28	▲2	▲7.1	59
セグメント間取引消去		4	3	▲0	▲18.5	8
合 計		1,054	▲697	▲1,752	—	2,087

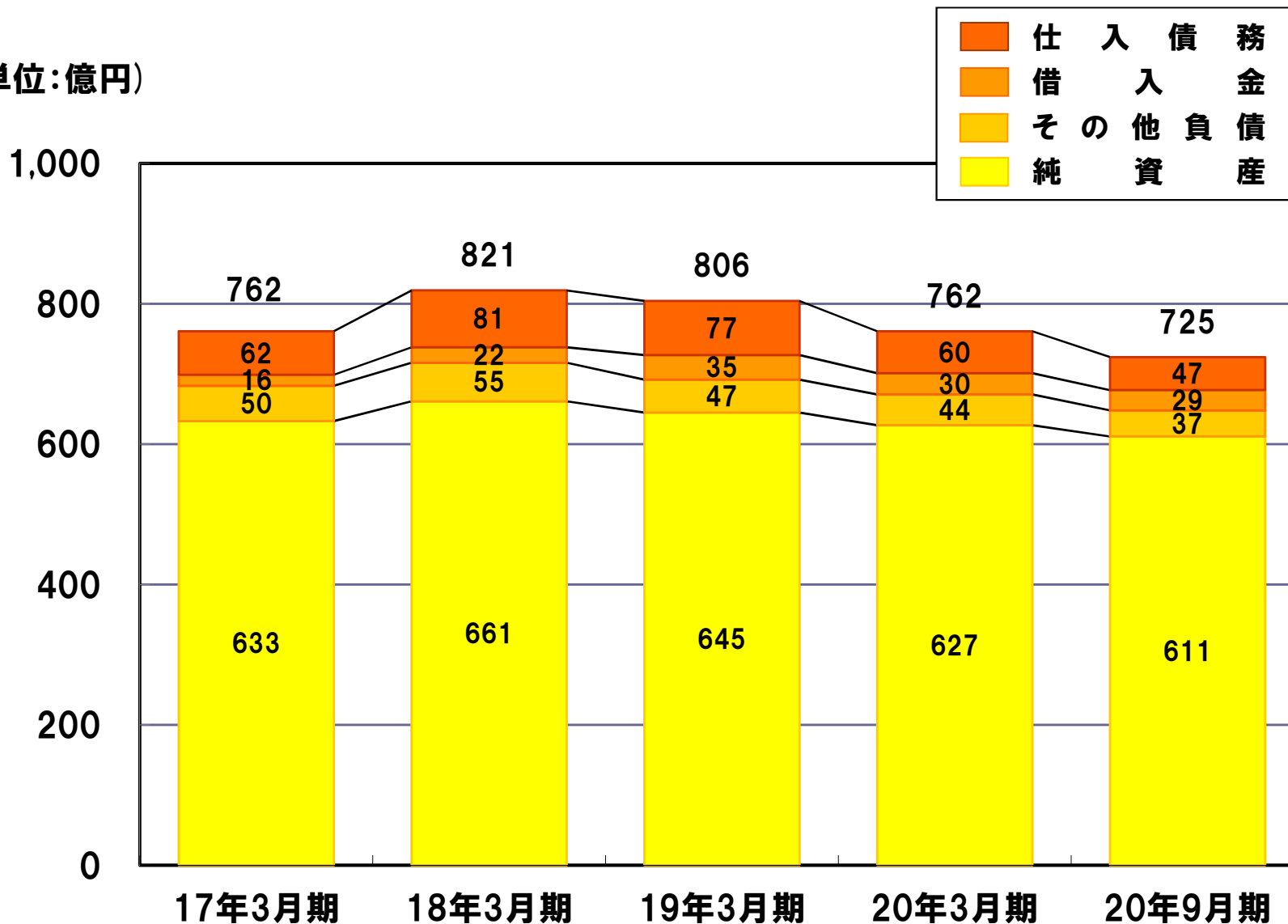
## 8. 2020年9月期 資産残高の推移 (連結)

(単位:億円)



# 9. 2020年9月期 負債・純資産残高の推移 (連結)

(単位:億円)



# 10. 2020年9月期 キャッシュ・フロー (連結)



(単位:百万円)

科 目	2019年 9月期	2020年 9月期	対前年同期比 増 減	2020年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,146	▲414	▲1,561	1,593
減価償却費	1,536	1,479	▲57	3,189
減損損失	—	—	—	188
売上債権の増減	3,404	2,429	▲974	2,668
仕入債務の増減	▲1,328	▲1,290	37	▲1,724
その他	▲143	▲273	▲130	383
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,615	1,929	▲2,685	6,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,765	▲944	820	▲4,020
フリーキャッシュ・フロー	2,850	984	▲1,865	2,278
借入金	▲267	▲27	240	▲535
自己株式の取得	▲0	▲0	▲0	▲0
配当金の支払額	▲530	▲367	163	▲1,060
その他	▲162	▲228	▲66	▲214
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲960	▲622	337	▲1,810
キャッシュ・フロー期末残高	13,101	11,922	▲1,179	11,697

# 11. 連結設備投資額

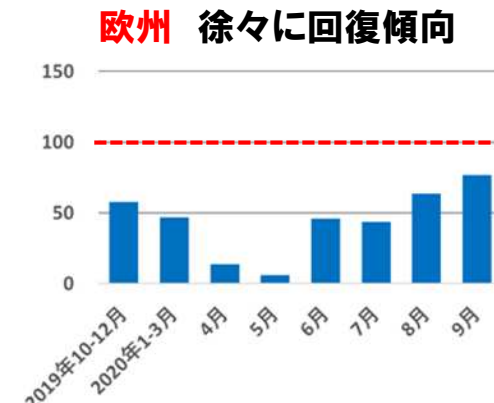
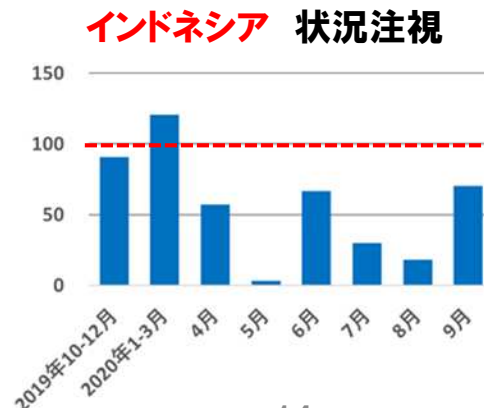
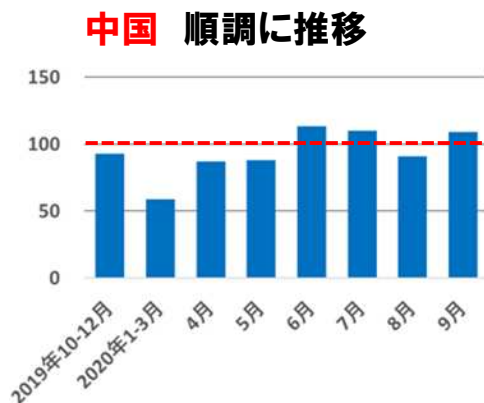
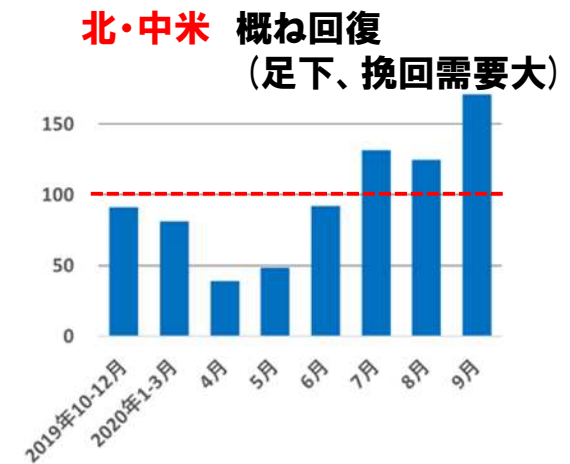
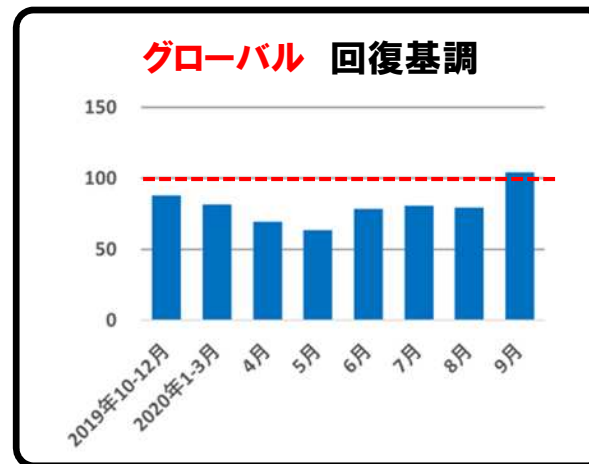
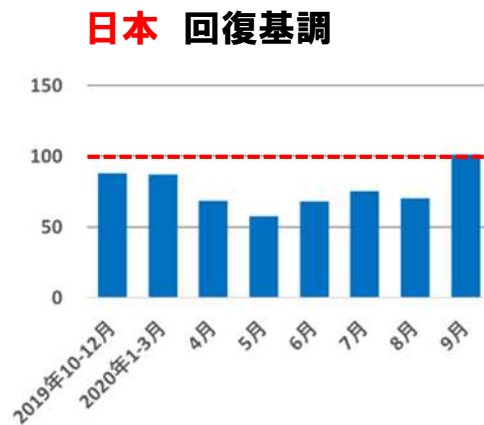
(単位:百万円)

	2019年 3月期	2019年 9月期	2020年 3月期	2020年 9月期	2021年 3月期予想
設備投資額	4,872	1,889	4,177	804	1,600
減価償却費	3,267	1,536	3,189	1,479	3,100

# 12. ネットレンGの地域別販売動向 (新型コロナウイルスの影響)

- 新型コロナ感染防止対策の徹底を継続しつつ、グローバルに事業活動を継続。
- 中国はいち早く回復、続いて北米が回復。その他地域は徐々に回復傾向。
- グローバル需要は、9月段階で挽回需要もあり、概ね回復。

前年同期を100とした場合の売上高増減

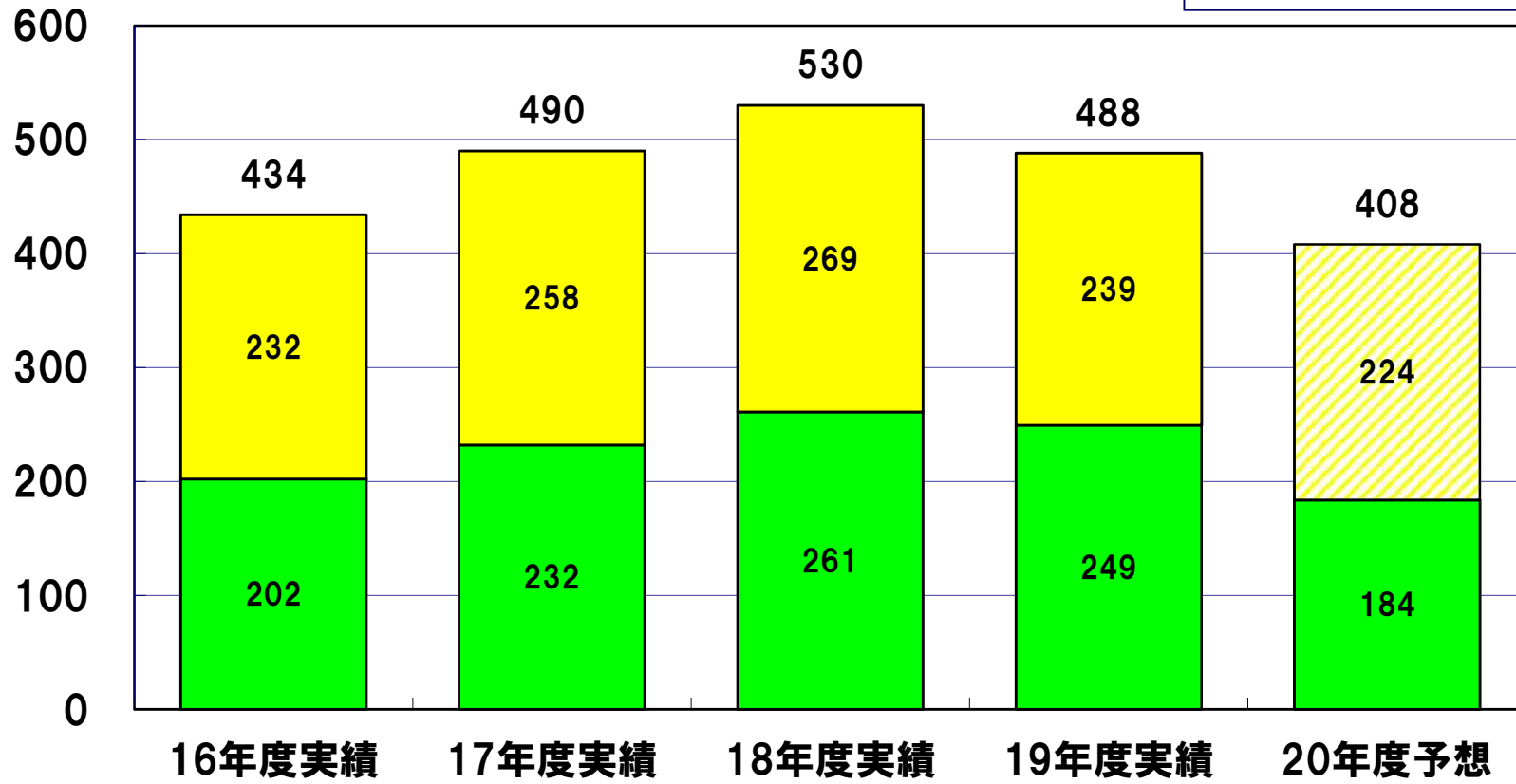
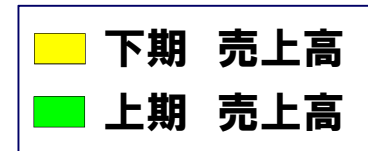


## II. 経営実績の推移



# 13. 連結売上高の推移

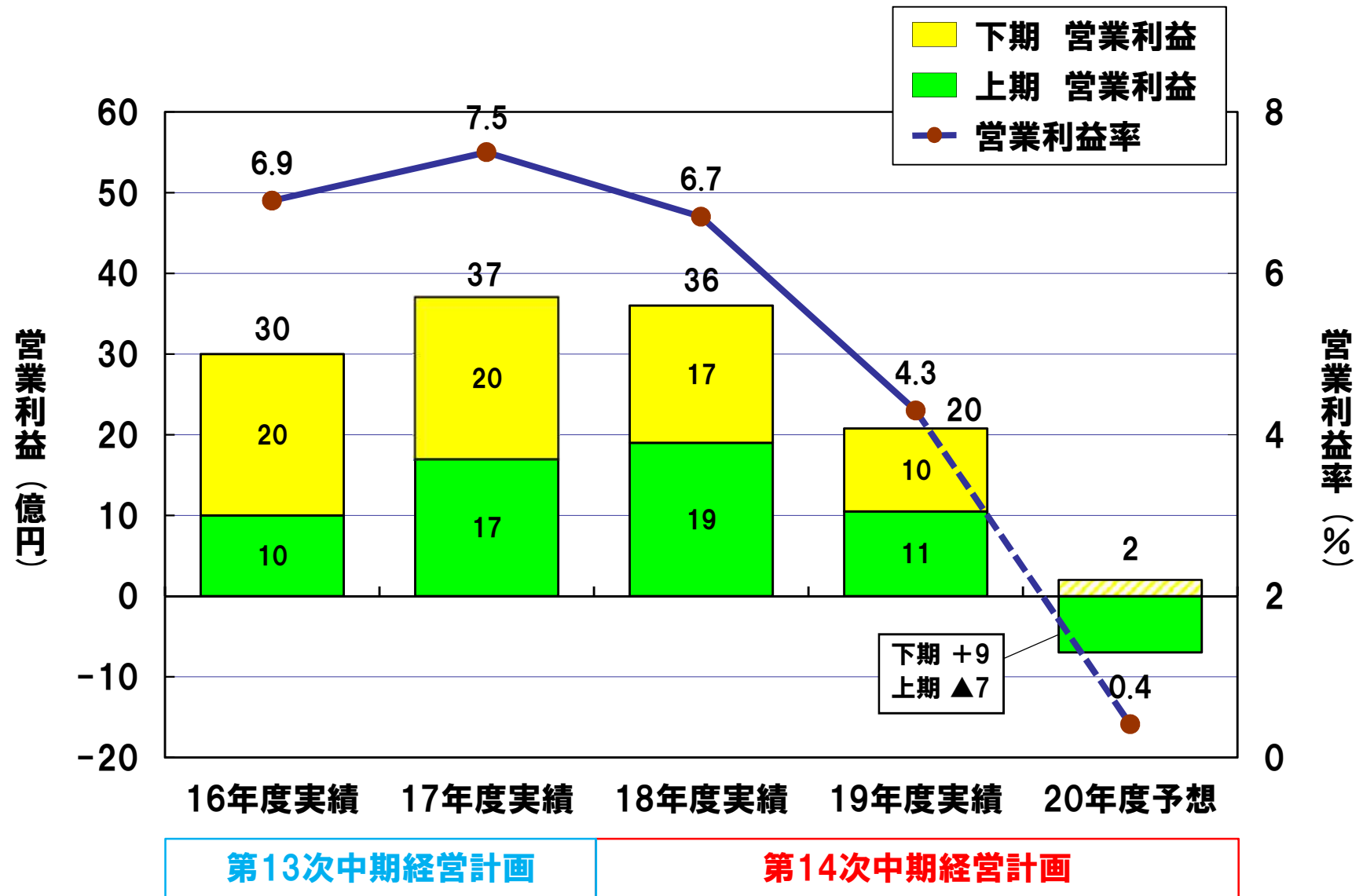
(単位:億円)



第13次中期経営計画 (FY16-FY18) | 第14次中期経営計画 (FY19-FY20)

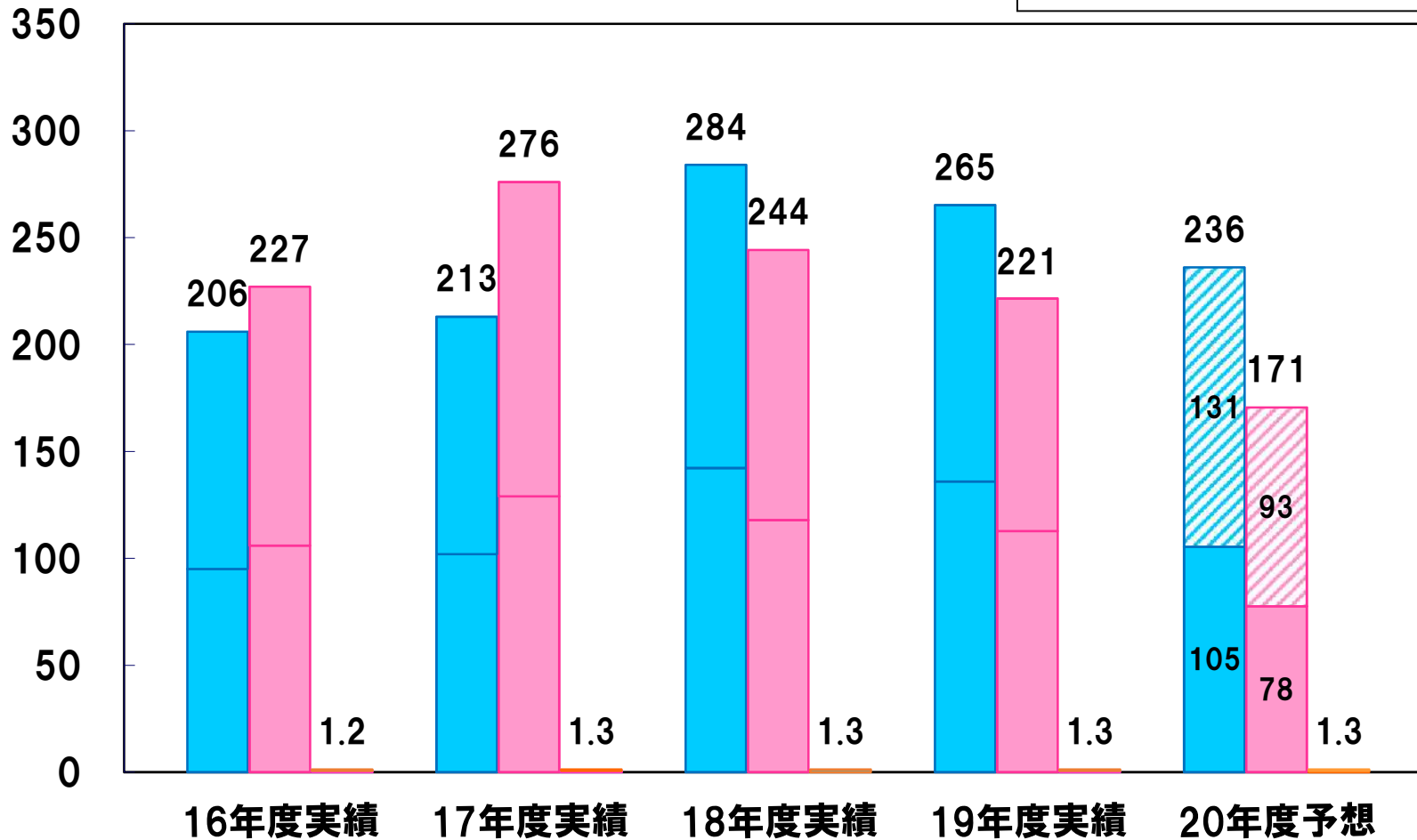
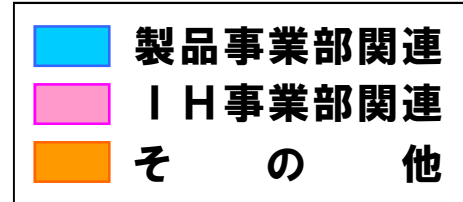
※換算レート・19年度 1中国元=15.67円、1USドル=109.56円  
 ・20年度 1中国元=15.54円、1USドル=105.80円

# 14. 営業利益・営業利益率の推移



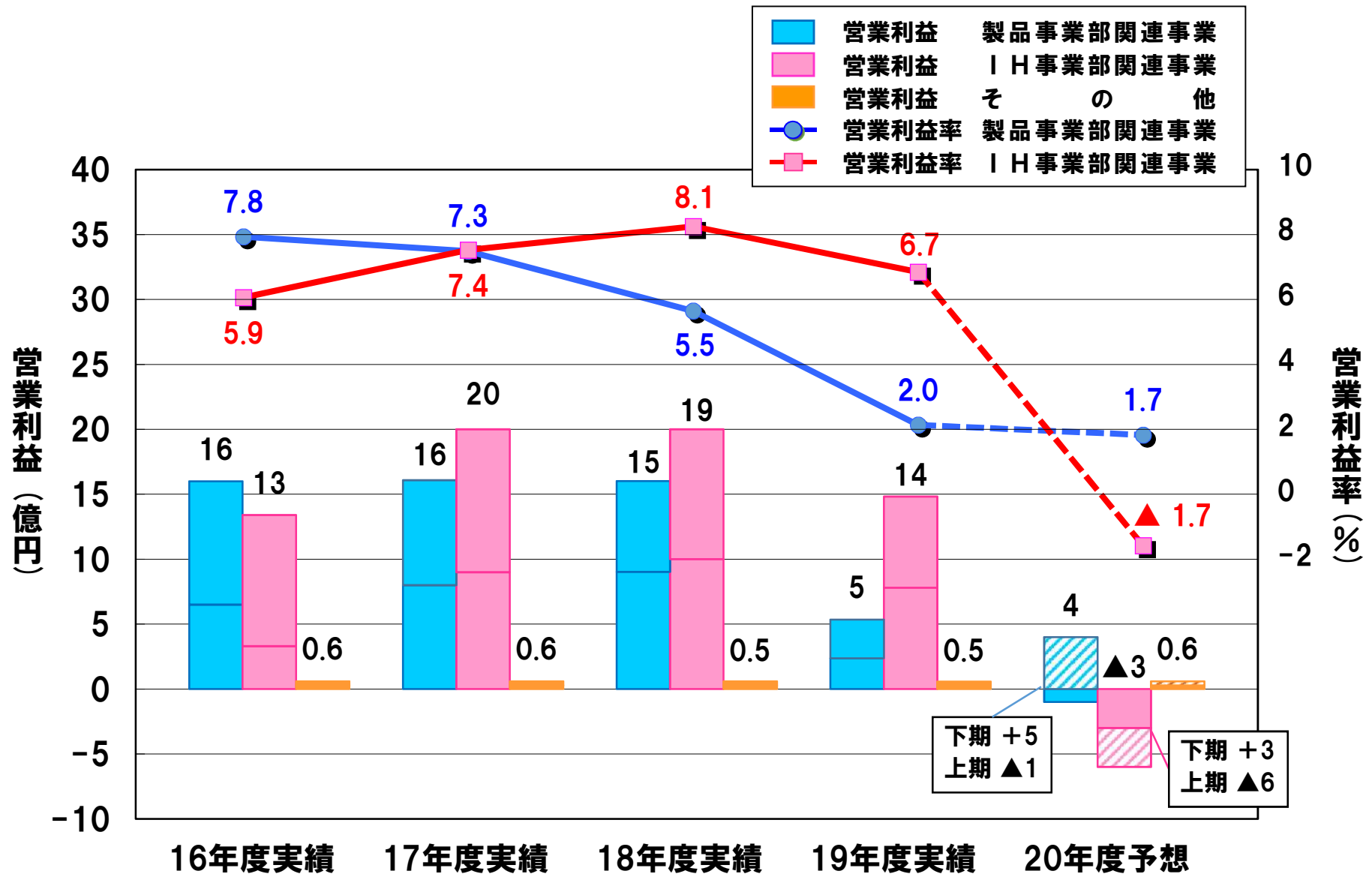
# 15. セグメント情報 (連結売上高)

(単位:億円)



※ 18年度以降はセグメント区分を変更し、表示しております。

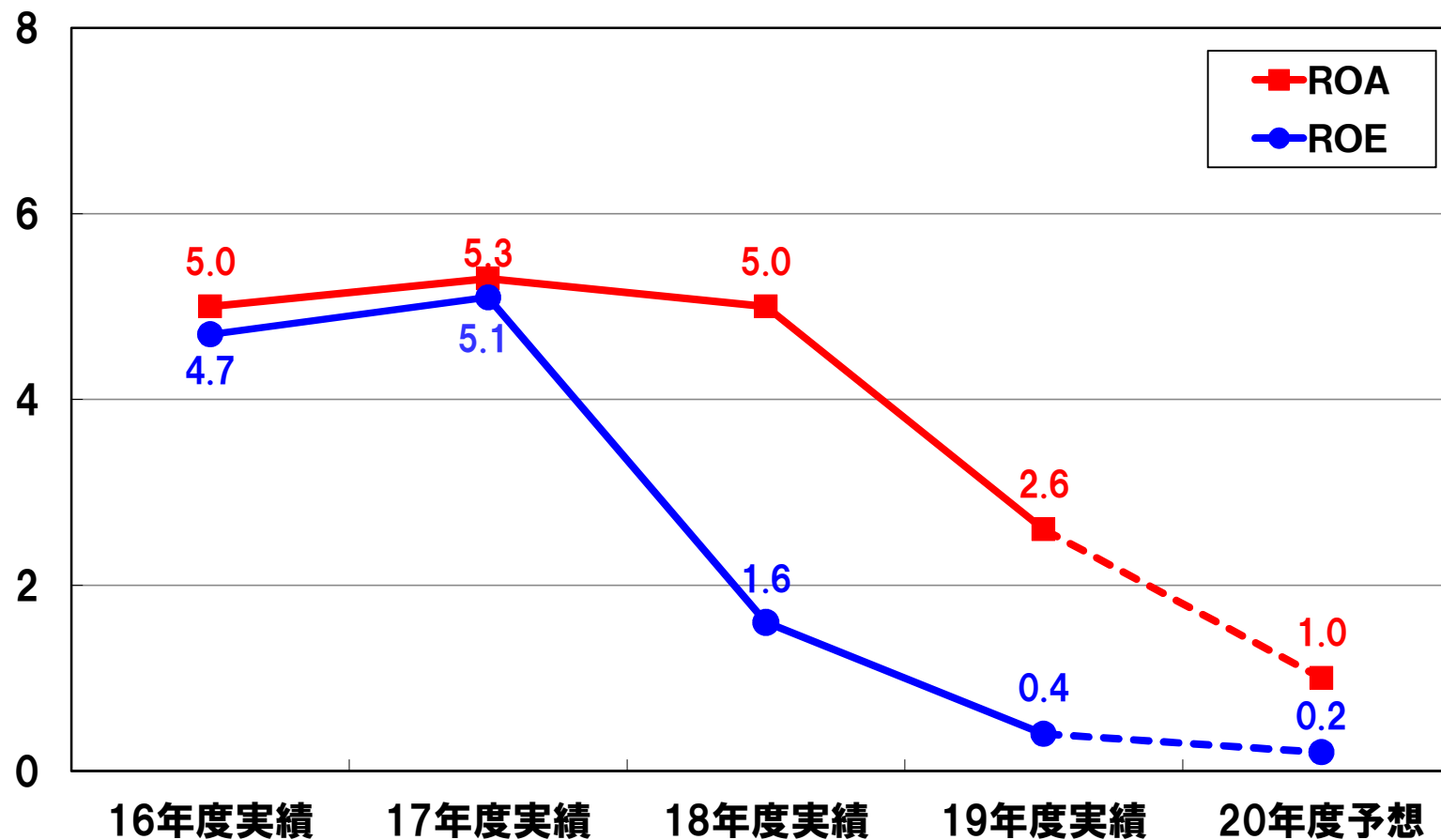
# 16. セグメント情報 (営業利益・営業利益率)



※ 18年度以降はセグメント区分を変更し、表示しております。

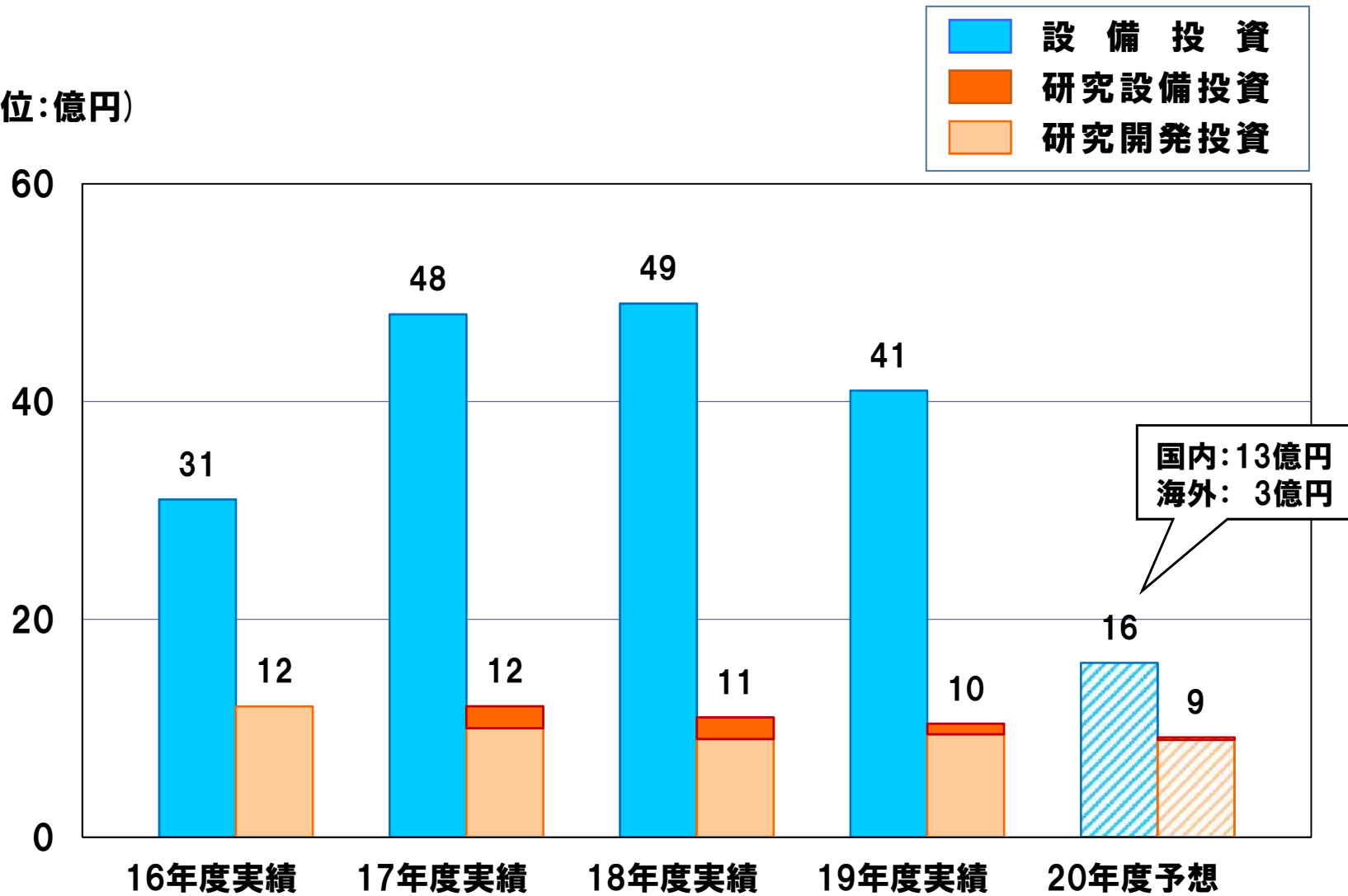
# 17. ROA・ROEの推移

(単位:%)



# 18. 設備投資・研究開発投資の推移

(単位:億円)

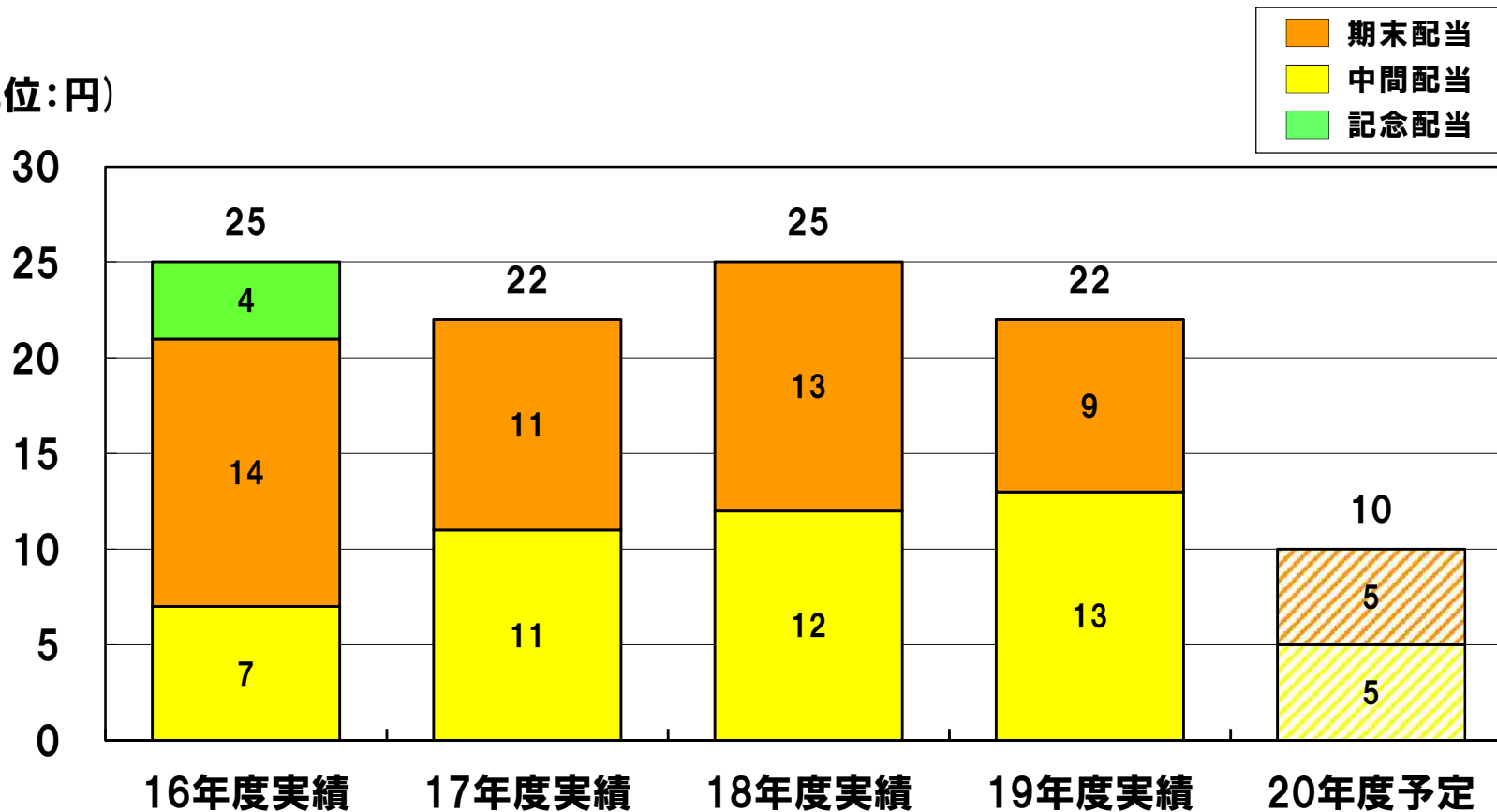


# 19. 配当の推移

## 基本方針

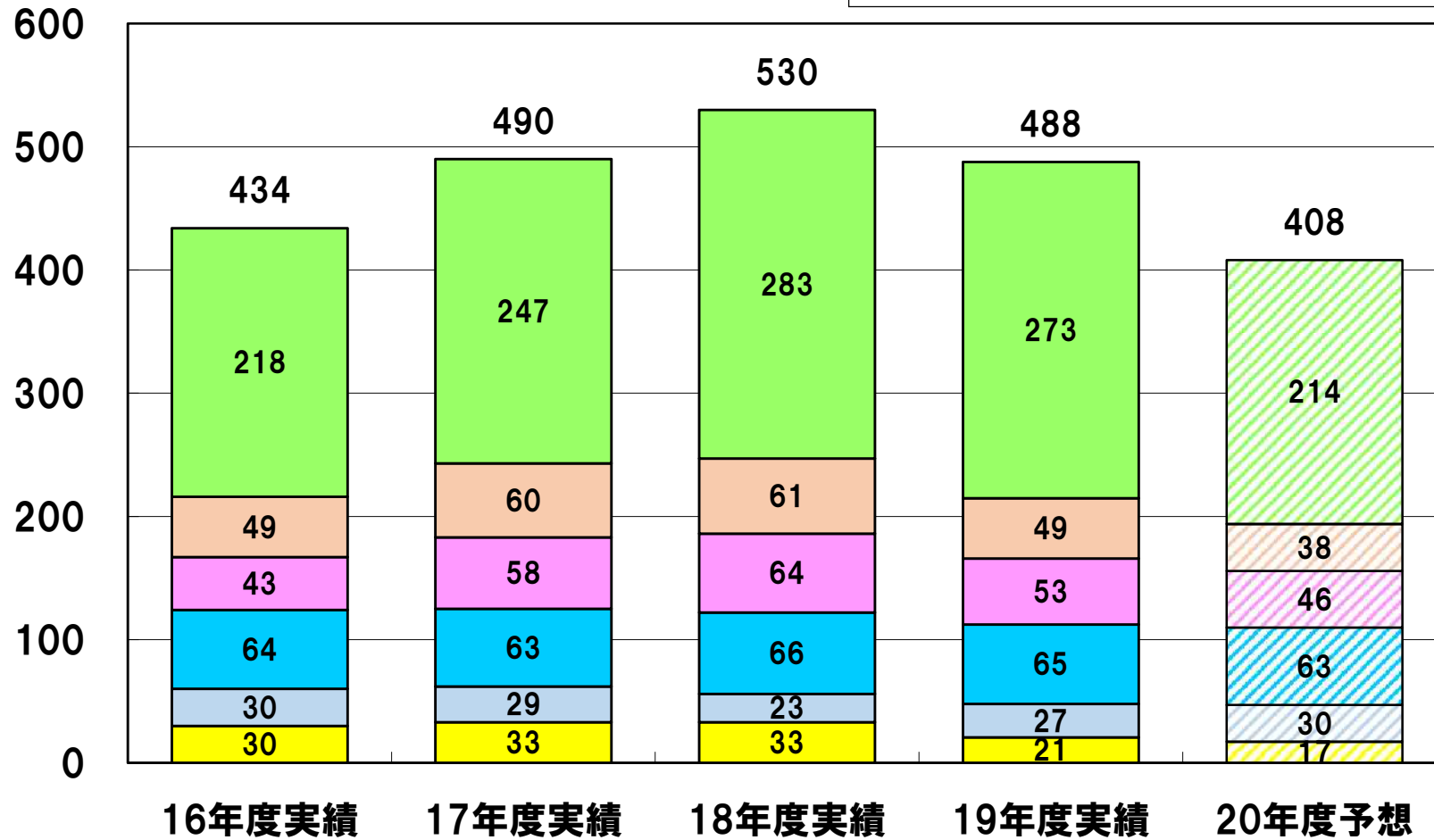
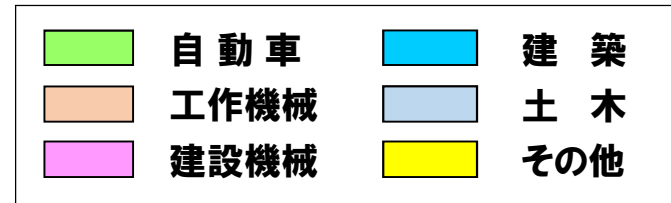
「安定した配当」を基本としており、当面、1株当たり年10円を下限とし、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向40%以上を目処としています。

(単位:円)



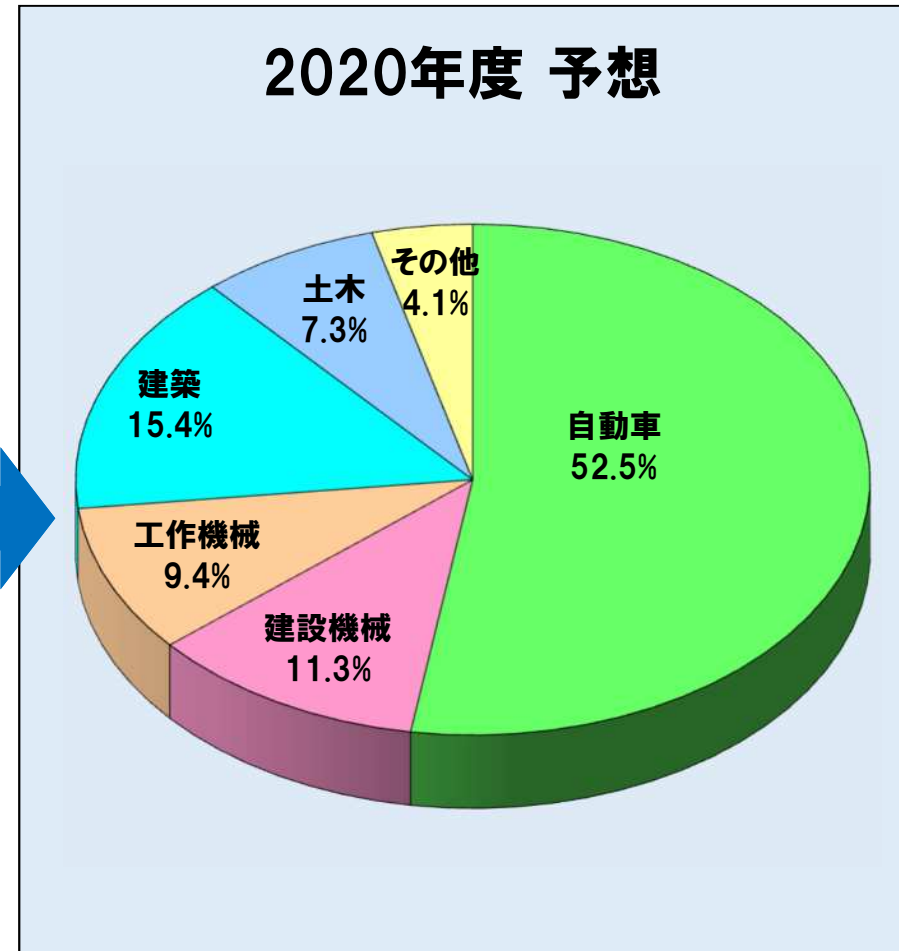
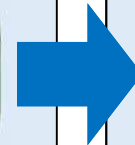
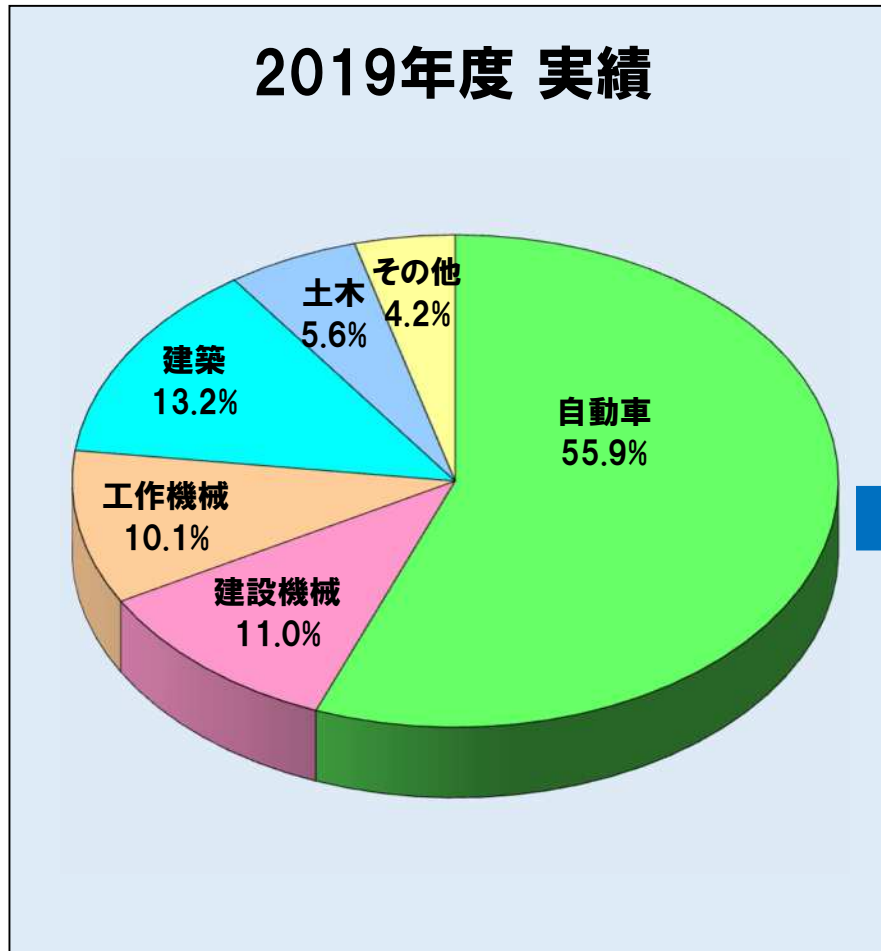
# 20. 業界別売上高の推移

(単位:億円)





## 21. 業界別売上高比率



### III. 第14次中期経営計画の状況

## 22. 第14次中期経営計画の状況①

### スローガン 「Accomplish V-20」

[趣旨] NETUREN VISION 2020 の総仕上げ、未来永劫進化する Netzlen を実現するために、総力を結集して第14次中計を完遂する覚悟を表現

第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入  
第2の柱: 現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成  
第3の柱: 安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築

#### [連結目標]

	2020年3月期 実績	2021年3月期 11/6 公表	2021年3月期 5/20 公表	2021年3月期 当初計画
売上高	488億円	408億円	430億円	570億円
営業利益	20億円	1.7億円	4億円	45億円
営業利益率	4.3%	0.4%	0.9%	7.9%
ROA (総資産経常利益率)	2.6%	1.0%	1.3%	7%以上
ROE (株主資本純利益率)	0.4%	0.2%	0.5%	6%以上

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい状況ではあるものの、**徹底的な原価低減**および**積極的な拡販**に努め、収益確保に邁進いたします。

## 23. 第14次中期経営計画の状況②

### 第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入

- 「ダブルスターク<sup>®</sup>」、「ハイブリッドラックバー」など、優位性の高い製品の展開に注力。
- 無公害・省資源の環境貢献ができる「IH技術」の強みを生かし、様々な業界のお客様への環境負荷低減、コスト低減に貢献できる総合的な提案を強化。

### イノベーションで新たな価値を創造

#### 第14次中期経営計画中新商品の市場投入

2018年度	2019年度	2020年度
<p><b>ダブルスターク<sup>®</sup></b> (建築)</p>	<p><b>ハイブリッドラックバー</b> (自動車)</p> <p><b>ウルボン<sup>®</sup>せん断補強筋</b> <b>カットオフ</b> (建築)</p> <p><b>極細径ITW<sup>®</sup></b> (産業機械) <b>高精度ワーリング軸材</b> (産業機械)</p>	<p><b>次世代ラチェット焼入装置</b> (自動車)</p> <p><b>太径ITW<sup>®</sup></b> (自動車) <b>PEシース型プレグラウト</b> (土木)</p> <p><b>MWGウッド用PC鋼棒</b> (土木)</p>

## 24. 第14次中期経営計画の状況③

### 第1の柱: 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入

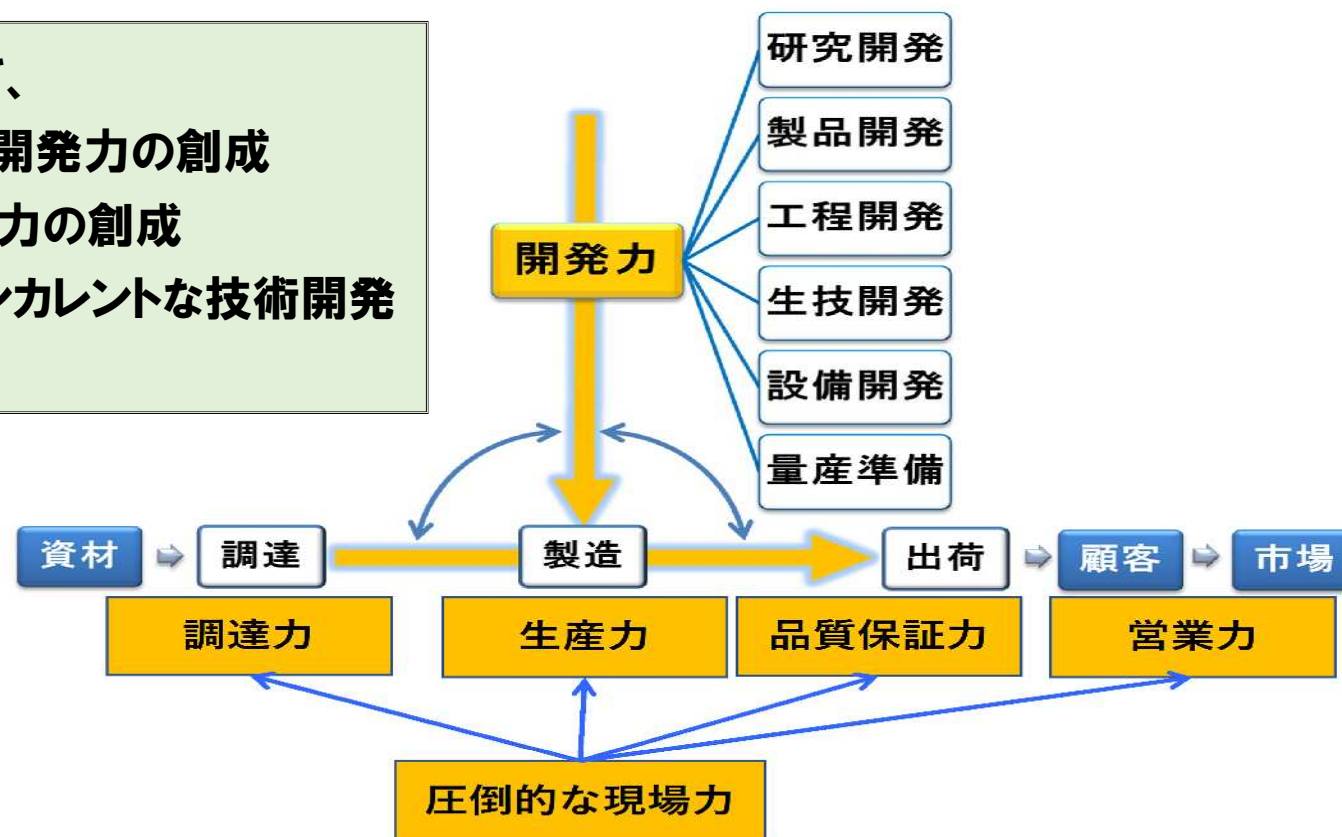
『進化する技術開発力の創成』、『圧倒的な現場力の創成』の重要性を再認識。

各部門が協力して、

① 進化する技術開発力の創成

② 圧倒的な現場力の創成

を推進しつつ、コンカレントな技術開発を目指していく。

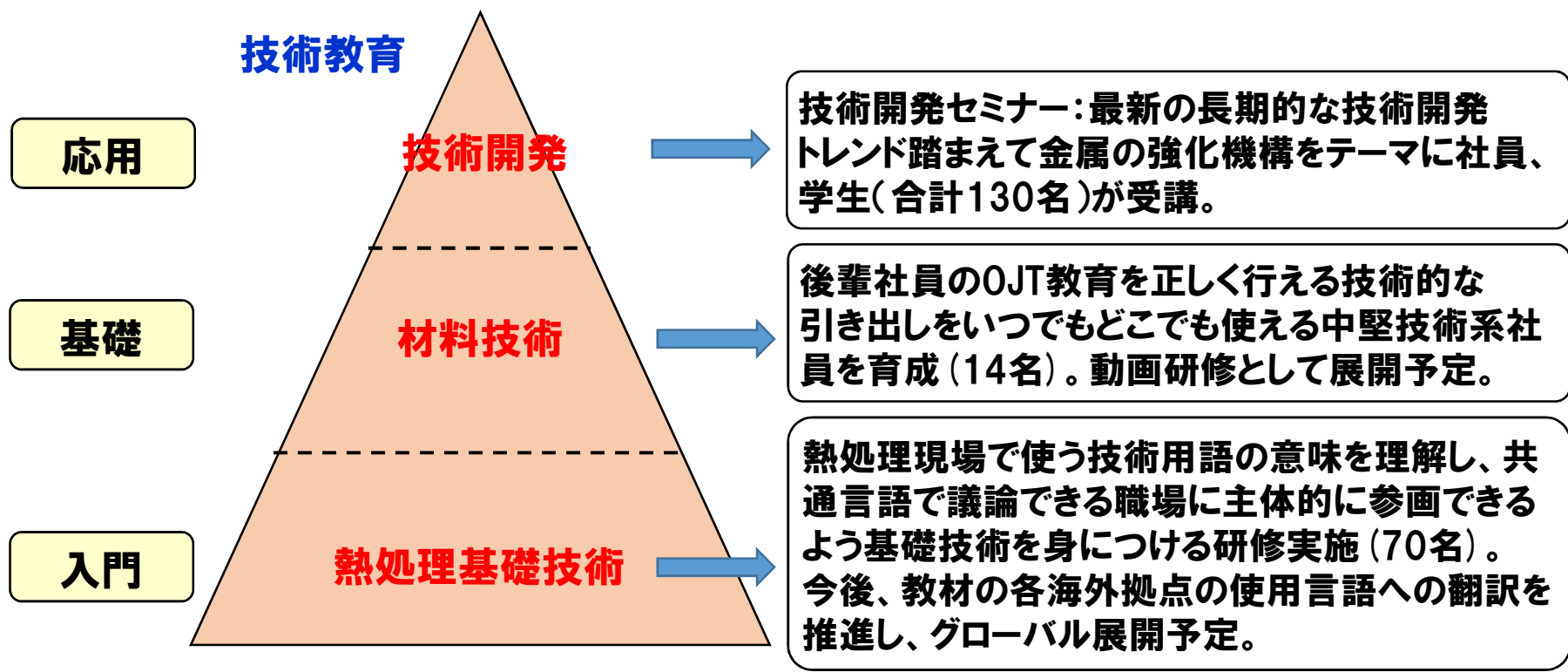


ネットレン型 逆T字モデル概略図

## 第2の柱: 現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成

Netzlen型 逆T字モデル(※) を担う人財を計画的に育てるために、『**技術開発**』、『**材料技術**』、『**熱処理基礎技術**』の各技術教育を充実。

(※) 進化する技術開発と圧倒的な現場力の創成、コンカレントな技術開発を推進。



### 第3の柱: 安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築

#### 安全

- ・労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) を導入。
- ・各国の国情に沿った体制づくりを推進中。

#### 品質

- ・グローバルな品質情報の共有と不具合再発防止策の水平展開。
- ・新工場、新製品立上げ時の品質監査を実施。

#### CSR

- ・CSR意識を浸透させるための勉強会を国内・海外の全事業所で実施。(2019年度:1,264名参加)



ネットレンメキシコ  
朝礼での安全唱和の様子



# 27. SDGsへの取り組み

## NetzlenのSDGsへの貢献

NetzlenはIH技術と人財の力を強みに、国際社会の共通の目標である「SDGs」の達成に貢献していきます。

### Netzlenの技術を世界に

NetzlenはIH技術のバイオニア、トップメーカーとして、新技術・新商品の研究開発を積み重ね、イノベーションで環境・社会に役立つ新たな価値を創造し続けます。



### 強靱な街づくりを支える

NetzlenのIH技術を利用した熱処理加工・製品で、さまざまな部材の高強度化、耐久性向上と省資源化を実現。持続可能な社会に不可欠なインフラ作りに貢献しています。



### W-Ecoで地球に貢献

クリーンな電気を熱源とした地球環境にやさしい無公害・省資源のダブル・エコ(W-Eco)なIH技術で、気候変動に影響を及ぼすCO<sub>2</sub>削減に貢献していきます。



## 時代に応える高周波熱処理による耐久性向上・CO<sub>2</sub>削減・省資源

### 自動車業界



### 土木・建築業界



### 建設機械・工作機械業界

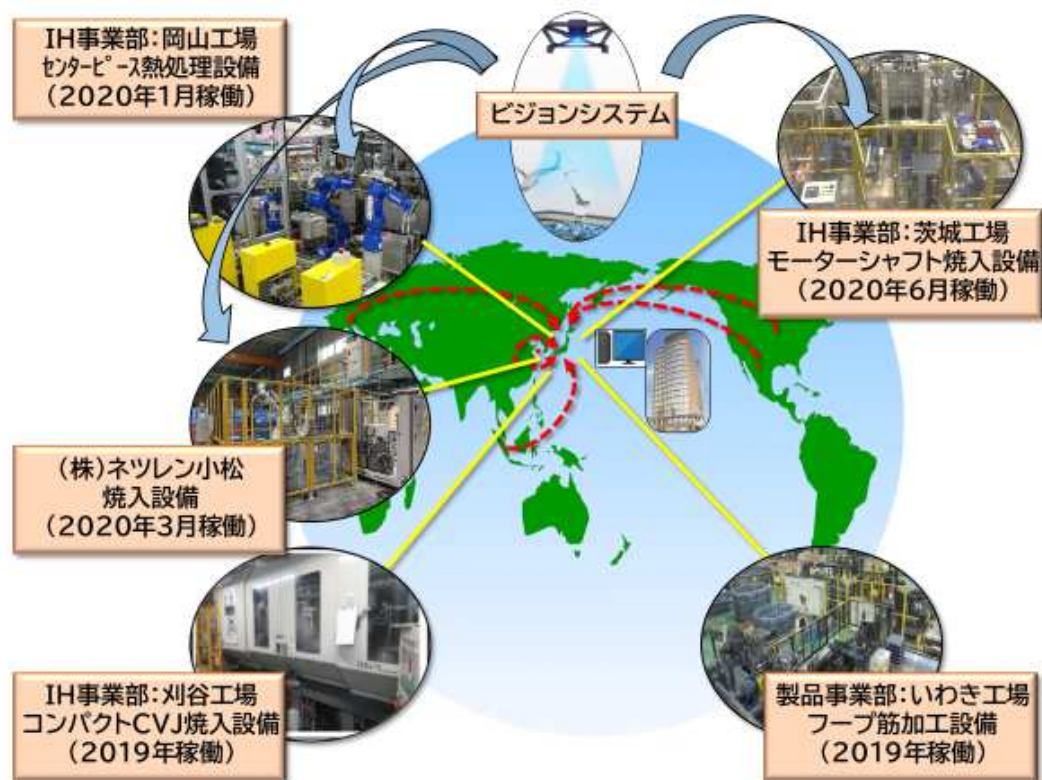




## 28. DXへの取り組み

### 業務やビジネス変革のための『ネットレンDX』の取り組みを開始。

『ネットレンDX』を継続的に推進することで既存事業や業務の高度化・変革を実現、新たな顧客価値、ビジネスを創出していきます。



これまでの取り組み事例:

- IoTによる設備の状態、稼働状況のリアルタイムでの一元管理(見える化)。
- 産業用ロボットと多次元画像センサーを組み合わせた自動化。

今後の取り組み:

- マーケティングを変革し、世界のニーズを的確に捉え、収益を拡大させる。
- 工場運営を変革し、進化した技術開発力で新しい価値を創成する。
- 設備・製品と現場力を変革し、持続可能な社会づくりに貢献する経営を実現。企業価値を向上させる。

# 29. VISION2030および中期経営計画の策定

## NETUREN VISION2030『進化と躍進』、 次期 第15次中期経営計画を策定中。

持続可能な社会づくりへの貢献

- パリ協定における日本のCO<sub>2</sub>削減目標  
2030年度：26%減(2013年比)、2050年度：実質ゼロ
- 『究極の省エネルギー熱処理とクリーンエネルギーの活用を推進』
  - 『CO<sub>2</sub>削減に貢献する産業分野への製品投入を推進』

クリーン・省資源なIH技術とオリジナル加工技術による高強度、高耐久性な製品をグローバルに広げることにより、**企業価値を高めるとともに、『持続可能な社会づくりへ貢献』**する。

企業価値向上に向けた体制構築



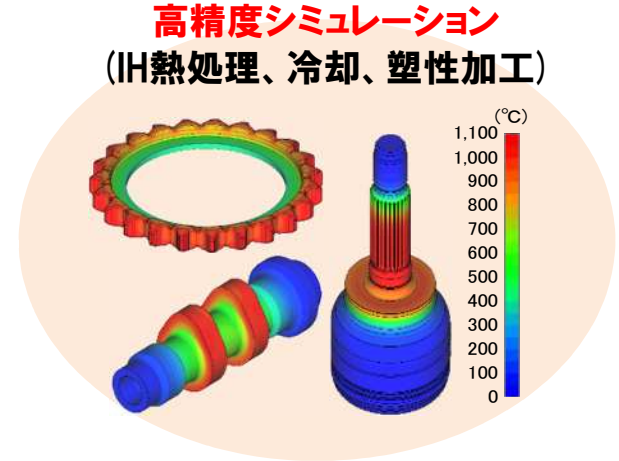
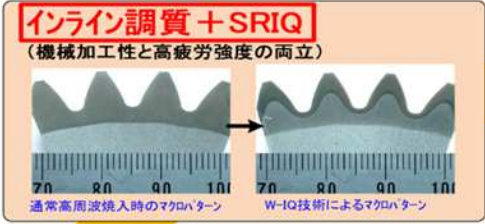
VISION2020で整備された体制を有効活用、反省も踏まえ、更に進化・躍進するネットグループに向け、VISION2030、第15次中期経営計画を策定していきます。

## IV. 新技術・新商品・新規事業の開発と市場投入

# 30. 環境に配慮した技術・製品の開発推進

環境に優しいIH技術の更なる進化と応用  
に向けて、様々な研究開発を推進。

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



W-IQ

窒化

DLC

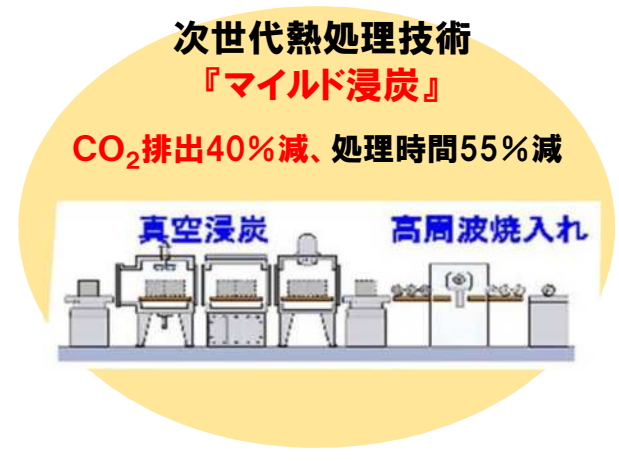
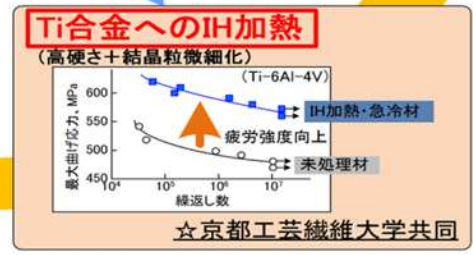
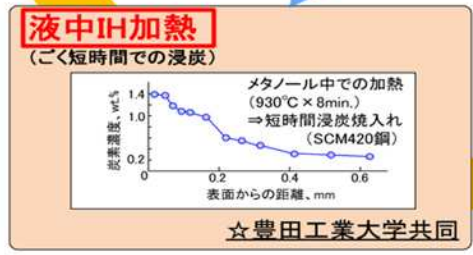
**IH加熱**

FPP (微粒子ピーニング)



液中加熱

非鉄金属への応用



# 31. 次世代ラチェット焼入装置

自動車・鉄道車両シート用の次世代部品（ラチェット）の生産に用いる『IH焼入装置』をシートメーカーと共同開発。

既存の連続炉から当社IH装置への置換えにより、シートメーカーで一貫内製化が容易に。海外拠点への導入を目指す。



IH技術のパイオニア、トップメーカーとしてのノウハウによる最適な熱処理条件の設定により、複雑形状部品への炉熱処理と同等以上の**低・定変形を実現**。

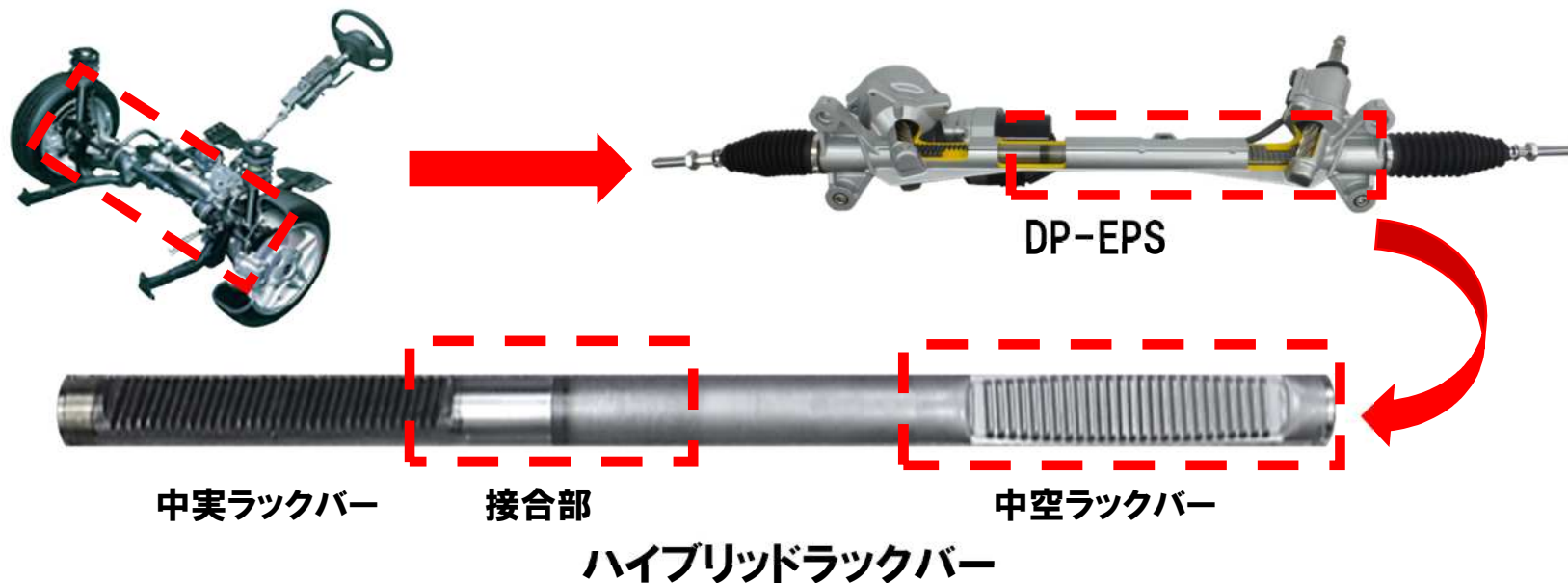
電気炉→IH装置への置換えにより、

- **環境負荷の低減**  
(電気効率向上、焼入油不使用)
- **生産性向上、コスト低減**
- **設備のコンパクト化**
- **1個流し生産の実現**

## 32. ハイブリッドラックバー (デュアルピニオンEPS用)

デュアルピニオン式電動パワーステアリング (DP-EPS) 用に  
ハイブリッドラックバーを開発し、世界初の製品として市場供給を開始。

中空ラックバー適用による「従来比1kg (20%) の軽量化 ⇒燃費向上」、  
「VGR採用による操舵安定性の向上」に加えて、EPSへの展開により、  
「EV化」、「自動運転化」にも貢献。  
また、デュアルピニオン式EPSと合わせて、ボールねじ式EPSへの適用も  
PR推進中。

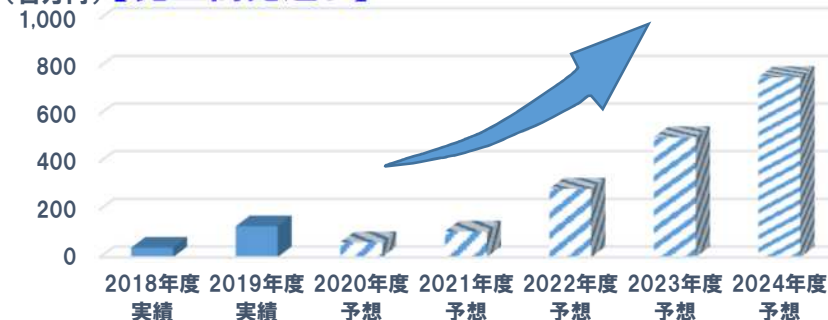


# 33. ダブルスターク®

国交省の材料認定を受け、2018年度より市場投入。  
 ダブルスターク®を用いた設計法一般化のため、「性能証明」を申請中。

「性能証明」の取得活動と並行して設計折込み活動を推進中。今後、大きな成長を見込む。

(百万円) 【売上高見通し】

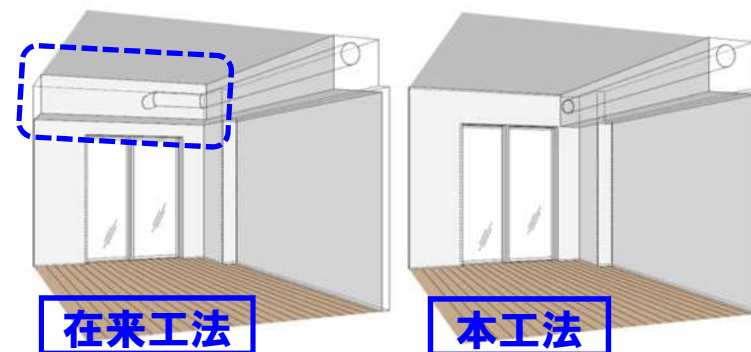
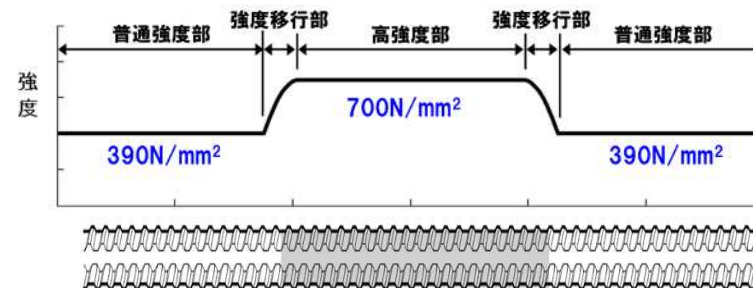


- 開発中の工法との組み合わせで居住空間の拡大、豊かな採光が可能に！
- 鉄筋量を従来より20～30%低減でき、省資源およびCO<sub>2</sub>削減に貢献。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を



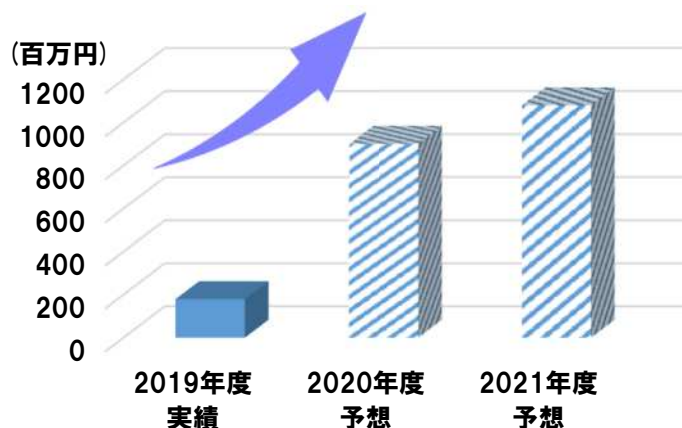
# 34. カットオフ『ウルボン®1275せん断補強筋』

『ウルボン®1275せん断補強筋』を用いた梁の鉄筋長さを短縮できる『カットオフ必要長さ算定式』の「性能証明」を取得。2019年度より納入開始。

他社製品からの置換え提案を含む営業活動を推進。  
業界シェア拡大中。



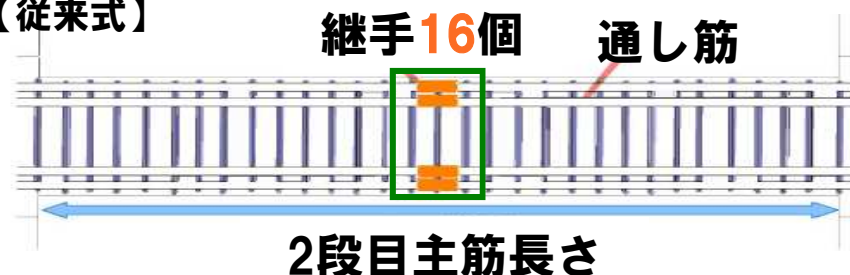
【売上高見通し】



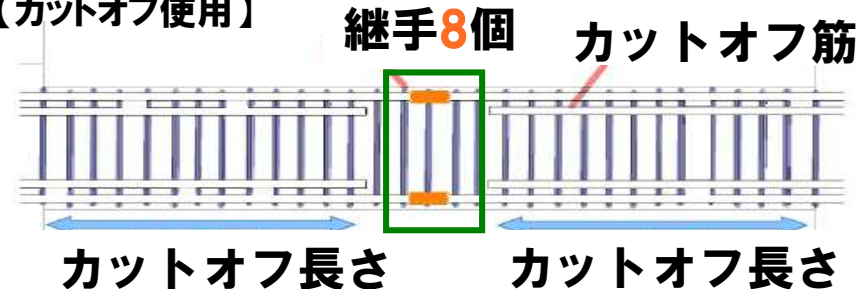
新算定式の採用により、

- お客様でのコスト低減（継手費用、取り付け工数）や工期の大幅短縮に貢献。
- 継手を従来より30～50%低減でき、省資源およびCO<sub>2</sub>削減に貢献。

【従来式】



【カットオフ使用】



※カットオフとは、鉄筋コンクリート造の柱や梁の主筋配筋を部材の途中までとすること。



# 35. 中国EV市場への太径ITW®の投入

**EV車用の太径ITW®を開発し、中国EV車市場への供給を開始。  
EV車の普及に合わせて、需要拡大を目指す。**

EV車バッテリーは軽量化開発が進められているものの、現在は車重量が増加。それを支える懸架ばねへの負担も増加。



EV車を支える懸架ばね用に、**世界最大径の水準となる冷間成形用太径ITW®**を日中共同で開発。

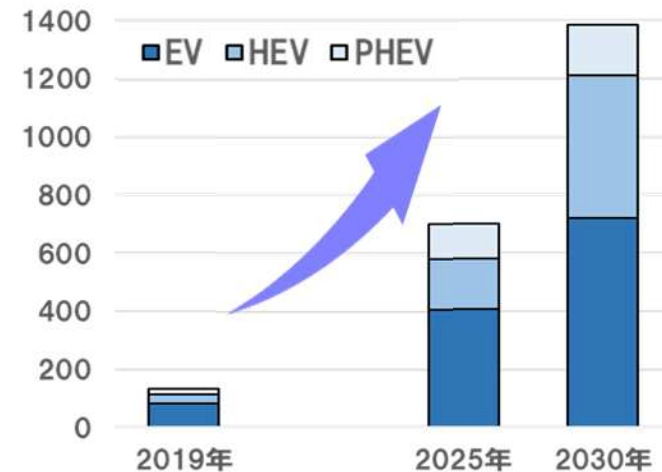
<太径ITW®>

- 線径範囲：Φ16.1mm ~ Φ22.0mm  
(従来の線径範囲：~Φ16.0mm)
- 強度範囲：~2,050N/mm<sup>2</sup>
- 生産能力：400MT/月



中国政府は、新車販売に占める「新エネルギー車 (NEV)」の比率を2025年までに20%、2030年までに40%に引き上げる方針。

生産台数  
(万台)

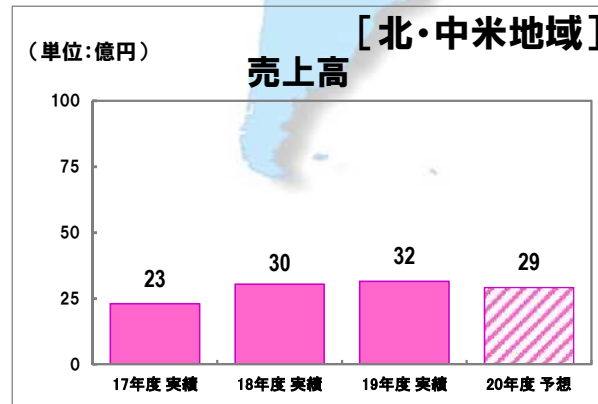
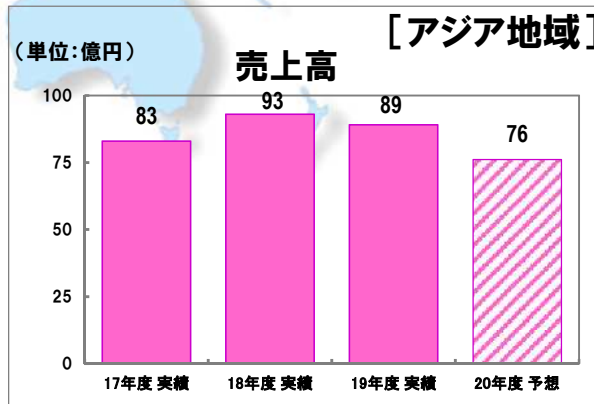
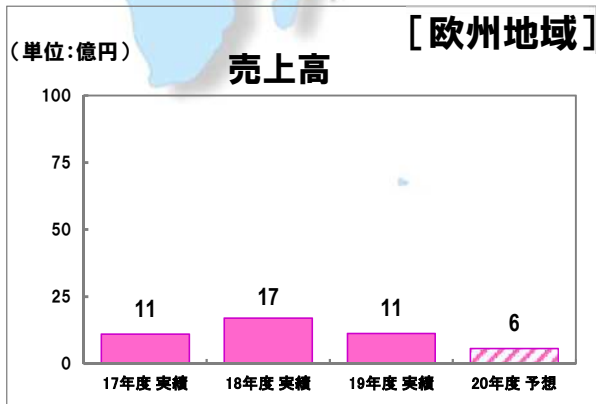


中国におけるEV車生産の見通し

# 36. グローバル事業の展開

## 海外事業展開の状況

6カ国 10社 (子会社)



※グループ内取引を含む。  
 ※日本からの輸出は含まず。

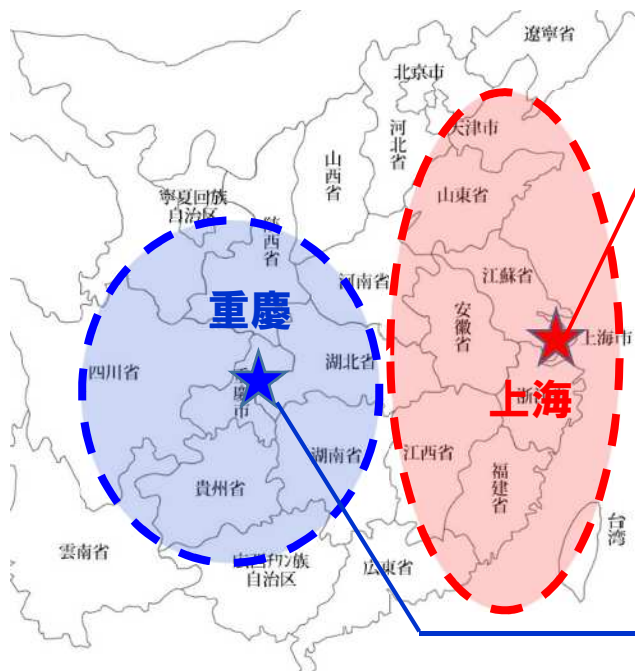
# 37. グローバル事業の展開

中国における高強度ばね鋼線ITW®の生産能力を拡張。  
上海中煉 重慶分公司 2021年1月より量産供給開始へ。

発展著しい内陸部での需要取り込みの為、  
重慶に分工場を設立。

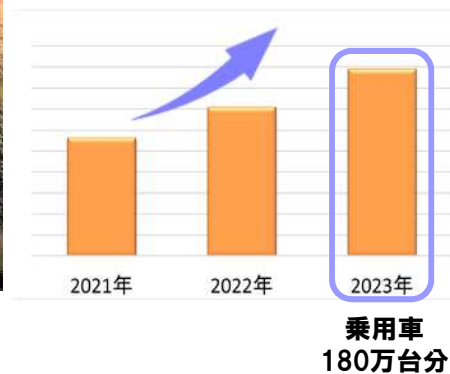


上海中煉線材有限公司  
(2004年～)



上海中煉 第二工場 重慶分公司  
(2021年1月より稼働予定)

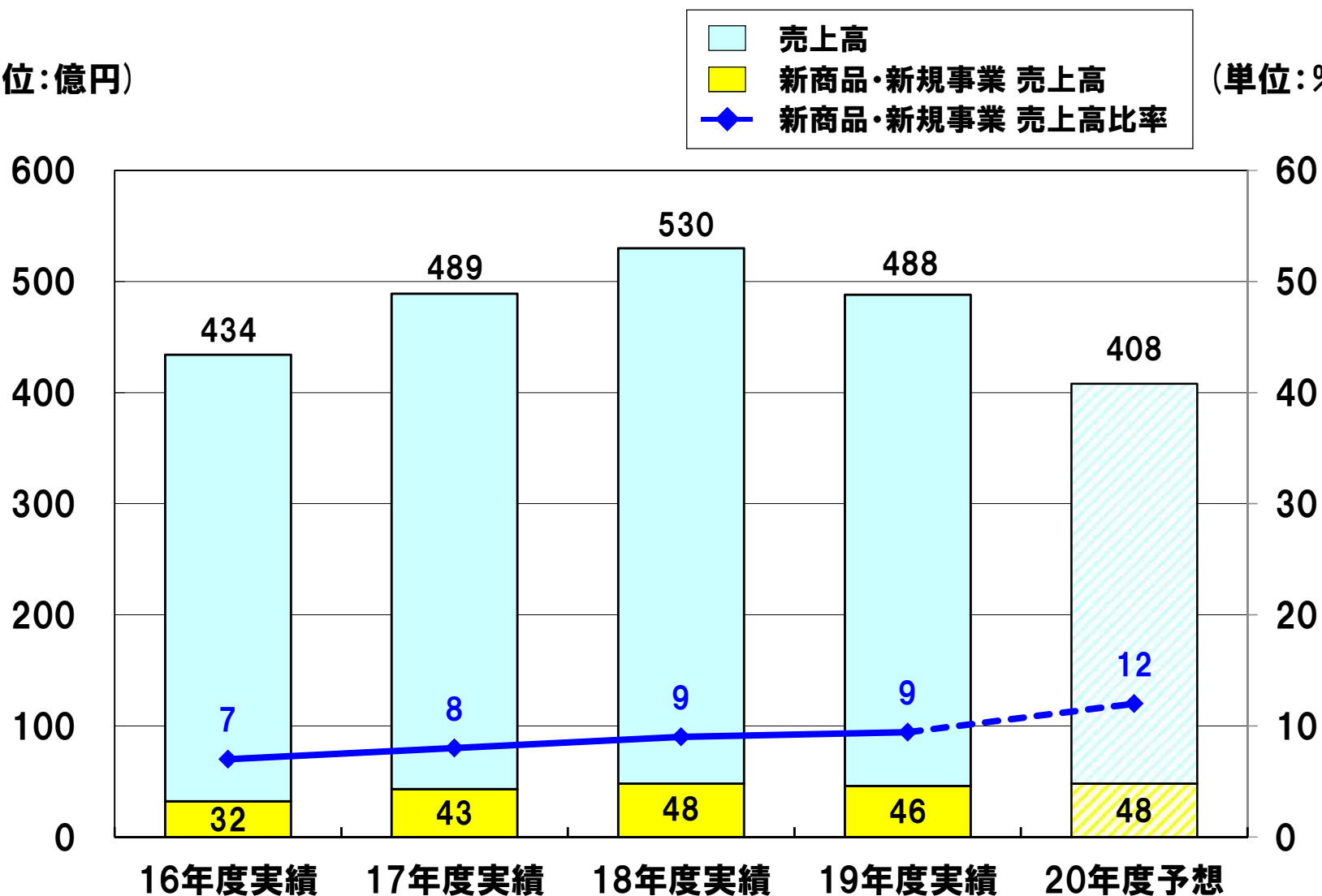
重慶分公司 販売量見通し



# 38. 新商品・新規事業の売上高推移

(単位:億円)

(単位:%)





**(注) 当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。**